



# 森ボラ 通信

第223号 2020年12月20日発行  
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**  
URL <https://www.shinrin-npo.info/>  
札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター  
TEL (fax): (011) 816-7010  
E-mail: hshinrin2002@nifty.com

## トピックス

### ◆ 野幌道有林活動報告

4月から始まりました野幌道有林(江別市西野幌道有林169林班54, 57小班、面積1.33ha)の活動は、11月に今年の活動が終了しましたので時系列で報告します。この活動は北海道空知総合振興局森林室と覚書を交わし、北海道新聞野生生物基金の助成を受け、近自然森づくり協会理事長・岡村先生の指導を受けて実施しました。

**【4月】**コロナ過の中で4月30日にスタッフ4名で今年度の活動地0.5haの現地確認を行いました。2018年9月の台風で倒れた樹木はきれいに片づけられていました。

**【6月】**5月の活動はコロナの影響で中止となり、6月4日に岡村先生の参加を得て実生稚樹調査を行いました。実生稚樹は多数ありましたが、将来立派に育つ稚樹かどうかの判断が今までの森ボラ活動では経験が無かったために、結構難しく思いました。また、岡村先生の苗畑と近郊の実践現場の見学を担当者で行いました。(詳細は森ボラ通信6、7月号参照)

**【7月】**実生稚樹調査を継続し、将来の下草刈りの負担を軽減するために、3m角防草シート位置を間隔5m確保しながら皆で決めました。7月下旬には森林室の委託業者により下草刈りが行われ、現場の見透しが良くなり作業の効率が上がりました。

**【8月】**3m角および1m角防草シートをそれぞれ23、130箇所に布設しました。1m角防草シートは自生稚樹にかぶせるように設置するために稚樹の幹や枝に損傷を与えないように慎重に布設しました。防草シートは石油系原料を使用しているため、将来の影響を考慮して生分解性シートを探し、5箇所に試験的に設置し、今後防草性能・耐久性などを確認します。

**【9月】**24日に「近自然森づくり」の実践現場・平取町を訪問し、岡村先生を始め関係者の皆様の熱心な説明を受けました。27日には親子森林教室卒業生・現役9名、保護者等10名を迎えて植樹祭が行われ、事前に道具類、植栽苗などの準備に追われました。(詳細は森ボラ通信10月号参照)

**【10月】**事前に印をつけた自生稚樹が無いところに、澄川で保育していたミズナラ苗の植栽および地区内の自生苗を移植しました。すでに植栽した苗にウサギ、シカなどの食害が見られたので食害防止網を3m角シート17箇所に設置しました。また、54, 57小班に各2箇所10m×10mのモックリング地を設け、片方には食害防止網設置、もう片方は網無しとしました。



防草シートの敷設



食害防止網の設置

【11月】モミヅの苗1本毎に樹高調査を行いました。これは今後も継続します。防草シートが無い約40箇所には、澄川の整理伐材で作成したチップを厚さ10～15cm敷設し、今後その効果を確認します。

今年の延活動日数は11回、延参加人数は152名となり、経費は苗、防草シート、食害防止網、碎石、ピン、結束バンドなどの資材の他油脂、交通費など40万円程となりました。コロナの影響の中、慣れない自生稚樹確認に手間取りましたが、皆様の協力により無事に終了出来ました。大変ご苦労様でした。来年は57小班内0.5haで、来春に今年行った苗・シート・網・チップの状況を詳細に観察し、規模・方法に修正を加えながら進めて行きたいと考えています。今後よろしくお願い致します。（文・樫棒）

## 活動報告

### ◆ 秋季清掃活動



10月13日、恒例の清掃活動を15名が参加して行いました。今年はコロナの影響で巣ごもり生活による一般家庭から出る生活廃棄物のポイ捨ゴミの回収に手を焼くのではと思いつつスタートしました。然し市道の一部が道路舗装工事区間で立ち入り禁止となっていた事で、例年に比べ清掃活動は早く終わりました。

量的には、札幌市豊平・南清掃事務所からの報告ではボランティア袋に収まったゴミは0.64トン（春は1.7トン）でした。大型粗大ゴミはスプリンターマット型のダブルベット、二人掛け用ソファ、食卓テーブルが各一個でした。例年より回収ゴミが少なかったのは一部区間で回収作業が出来なかった事によるものと思われます。いや、良心の芽生えと思いたい気持ちでした。

道路縁に設置された不法投棄防止のぼり旗は破れたり折れたりしたのが見られたので、札幌市みどりの管理課をお願いして新しい物に取り換えて頂く様お願いしました。今回も豊平・南清掃事務所の方には回収から計量まで大変お世話になりました。（文・事務局）

### ◆ 澄川環境林に隣接する火山灰採取場の現状視察

11月20日、札幌市宅地課とみどりの管理課の3名の方と、宅地課の要請で参加頂いた火山灰採取会社の代表の方と一緒に、火山灰採取場と右精進川の湧水地点の現場状況を見て回りました。協会からは3名が参加して説明を聞きました。

この結果、以下の2点が確認できました。

- ①地図上では環境林を流れる右精進川の源頭はコルゲート管の下10mの湧水箇所であること
- ②現在、南端のコルゲート管（写真-1）から右精進川に流れ込んでいる水は何処から来ているか不明だが（火山灰採取場からの水ではない）、この採取事業が終わった時点でコルゲート管は撤去すること

また、今後の火山灰採取場の流れとしては

- ①この場所からの火山灰採取は3年から4年で終える予定である。





- ②今年の作業は11月で終える。12月から現在の溜池（写真-2）を沈殿（or 沈査）用池とオーバーフロー用池の二層に改修して、極力火山灰が環境林に流れない様な構造にする。
- ③火山灰の採取が終わった時点で、3年ぐらいかけて元の山に戻す。（ナナカマド3,900本を植栽）

以上現場状況を報告しましたが、3,4年後には火山灰採取跡地に残土を投入する埋め立て工事が行われます。これからも水生生物や水質調査を継続して、右精進川を見守っていきます。（文・佐野）

## ◆ 2020年度第二回理事会報告

11月6日（金）、アークス本社ビルで2020年度の第二回理事会が開催され、前期（4月から9月）の事業報告及び会計報告を行いました。一向に収束の見えないコロナ感染症の影響もあり全理事の参加とはなりませんでしたが、横山理事長を含めて5名が参加し（委任状が5通、欠席者は2名）、横山理事長を議長に選任して審議が行われ、下記の議題が承認されました。

第一号議案 2020年度前期事業報告及び会計報告

第二号議案 「森ボラ協議会」に係る2020年度前期事業報告及び会計報告

冒頭、理事長からは、行く先々で北海道森林ボランティア協会の事をよく聞かれ、誇りに思い、日頃の活動に感謝すると共にコロナ禍の中で健康に留意して社会貢献に繋げて貰いたいと激励を受けました。（文・事務局）

## ■ 澄川の自然 16

### カシワ・ブナ科

上流橋を渡り、右カーブの土手をミズナラやホオノキ、カエデ類の落葉をガサガサ踏みしめながら歩いていると、何とカシワの葉が混ざっていました。

坂を登り切って右手にまだ葉を付けたカシワの木を発見。手前にミズナラの木があって葉が茂ると、カシワかミズナラか見分けが付きにくく気が付きませんでした。澄川で2本目のカシワ発見です。

（文/西野(澄)・写真/三橋）



## ■ 図書コーナー

番号	図書名	著者	発行所	本体価格(円)	購入年月
74	『難しい木の伐倒方法』	全国林業改良(普)	全国林業改良(普)	1,980	2020年12月
75	『なぜ3割間伐か』	藤森 隆郎	全国林業改良(普)	1,980	2020年12月
76	『おもしろい草花の話』	全国林業改良(普)	全国林業改良(普)	1,430	2020年12月
77	『おもしろい森の生き物の話』	全国林業改良(普)	全国林業改良(普)	1,300	2020年12月
78	『この人に聞く～山を豊かにする林業創造』	全国林業改良(普)	全国林業改良(普)	1,980	2020年12月

※読みたい方は事務局までお申し出ください。

## ■ 今月の幹事会

出席者(12月8日):市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・佐野・釣井・三橋・矢澤・矢野

1. 2021年1月、2月スケジュール(1月幹事会1月8日(金)):コロナ対策で活動日削減を継続。
2. 2020年11月会計報告、12月～3月収支計画:了承。
3. 親子森林教室、2021年度募集チラシの配布、子どもゆめ基金助成申請:いずれも了承。
4. 森林・山林多面関係報告、決算報告。消耗品購入1月末、人件費2月中旬まで:いずれも了承。
5. 野幌道有林:関係区域内の危険木処理を空知総合振興局森林室(業者委託)にて11月末終了。
6. 上流橋、キヤロ橋付近のホダ場立入規制:湿地帯保護のため必要。古木処理、立入経路、原木必要本数等を2月冬季セミナー(キノコ原木栽培)後に検討。
7. 現場報告 ・11/20 右精進川上流火山灰採取場視察(札幌市宅地規制係、みどりの管理課、業者立会):火山灰採取を3,4年継続。沈殿池・オーバーフロー池を設置。今後の水質の推移を慎重に見守る。  
・整理伐状況(D-2・E-7区):了承。
8. その他 ・第二回理事会(11/5)報告、コロナ対策として人数を縮小して実施:了承。  
・冬季セミナー予定:2/17 道上川総合振興局南部森林室富良野事務所 及川氏「キノコ原木栽培」  
3/18 北大中川演習林 吉田教授。  
・ボラ通、活動参加表ファイル表示変更:ファイル名を英数字に変更、試行を重ねる。  
・親子卒業家族、土日会員から正会員移行(入会金、年会費):正会員と同様とする。  
年会費納入書類送付は4月とする。  
・水生生物勉強会(12/4)講師北大院生:今後も現地調査を含め継続。

## ■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
11月17日(火)	澄川	17	補植、機器整備、各小屋整理・棚卸し
11月20日(金)	澄川	15	E-1,2 ニセアカシア除伐、右精進川上流視察
11月23日(月)	澄川	15	E-1,2 ニセアカシア除伐
11月26日(木)	澄川	18	E-1,2 ニセアカシア除伐、上流橋桁応急処置
11月29日(日)	澄川	-	コロナ対策により中止
12月1日(火)	澄川	20	E-1,4 ニセアカシア除伐
12月1,2日	忘年会	-	コロナ対策により中止
12月3日(木)	札幌北3条交差点広場	-	コロナ対策により中止
12月5日(土)	澄川	16	E-4 ニセアカシア除伐、D-2区整理伐、親子準備
12月8日(火)	ラルズ生活研究センター	11	幹事会
12月9日(水)	澄川	16	D-2区整理伐・作業道整備、マキ作り
12月11日(金)	澄川	15	D-2区整理伐、マキ作り、冬支度、親子準備
12月14日(月)	澄川	18	D-2区整理伐(手ノコ)、マキ作り